

【Ⅱテサロニケ 3章】

「どうか、主があなたがたの心を導いて、
神の愛とキリストの忍耐
とを持たせてくださいますように。」(3:5)



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2013.1.20 No.720

今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。
地よ。聞け。私の口のことばを。
私のおしえは、雨のように下り、
私のことばは、露のようにしたたる。
若草の上の小雨のように。
青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、

栄光を私たちの神に帰せよ。

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。
主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32：1～4



主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>

「ニュース深読み」というテレビ番組で「2050年にはどうなるのか？」と専門家を呼んで解説していました。37年後のことですから、私たちより若い方々はほとんど生きておられるでしょうし、他人事では済まされない密着した問題ですから、関心を持って観ました。情報を深読みすると、未来は決してバラ色ではないことは誰しも感じていることでしょう。

テサロニケ教会の人たちも、この世の終わりは近いという切迫感の中で過ごしていました。働くことを止め落ち着かない生活を送って、今日か明日かと主の日（再臨）を待っている人がいることに対して、パウロはそれが誤りであることを手紙を通して教えています。今の私たちにも通じることです。12、13節「静かに仕事をし、自分で得たパンを食べなさい。～たゆむことなく善を行いなさい。」

色々な考えが錯綜し、不況の波が押し迫り、人間にもたらす不安材料は多く、信仰も揺るがされてしまいがちですが、パウロは3節「**主は真実な方ですから、あなたがたを強くし、悪い者から守ってくださいます。**」と励まし、大切なことは次の二つであると述べています。すなわち、「神の愛」と「キリストの忍耐」とを持たせてくださることです。この二つは切り離して考えることはできません。愛があるから忍耐でき、忍耐することで神の愛が現れてきます。

では神の愛とキリストの忍耐を持つ為にはどうすればよいでしょうか？「**見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。**」と約束がありますから、主から離れることなく、キリストのみ体である主の教会に留まり、更に聖霊に満たされて行くことです。「**エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。**」「**しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けません。**」(使徒1:4、8)

世の判断は**神様抜き**の**人間の知恵による予測**です。しかし幸いなことに、私たちはこの世が**神様によって造られ、過去も現在も未来も神様のみ手の中にある**ことを知り、人間を救ってくださった**神様の愛と恵みの中**にいることを知っています。世の終わりが近いと言われてはいますが、例えそれが明日来ようとも、慌てることなく、まず神の国とその義とを第一に求め、優先順位を正し、神様が成せと言われることを忠実に成してゆきましょう。そして、神の愛とイエス・キリストの救いを一人でも多くの方々に知って頂き、26聖人によって引き継がれた伝道の使命を果たしましょう。

イエス・キリストは救いの道を人間に開き、信じ従ってくる者を赦し、癒し、解放を与え、将来と希望を与えられるお方ですが、人間の目は塞がれ、その福音を聞こうとしません。しかし、イエス・キリストは忍耐をもって命を惜みず人間を極みまで愛されました。私たちもこの世に在って、様々な忍耐を強いられることがありますが、そのような時にこそイエス様の忍耐を覚え、主を待ち望み、主に助けと解決をしていただきましょう。

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。